

芸術文化との新たな出会い・発見が、心と人生を豊かにします

第23回

ふそう文化大学

日本の歌への想い



©GAKKEN

2011年

6月12日(日)

午後2時開演

作曲家

あおしまひろし

青島 広志

◇お話「後世に伝える、懐かしき歌の情景」

◆演奏

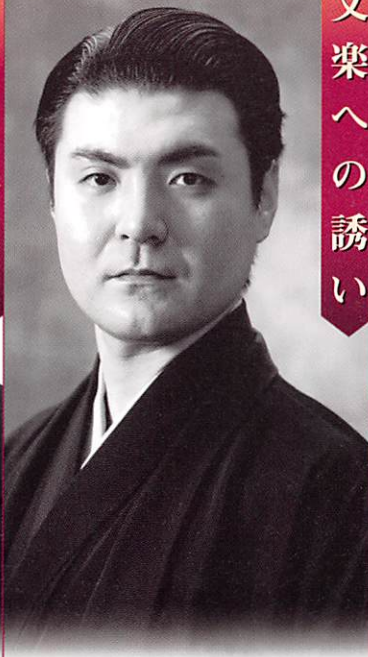
「からたちの花(作詞:北原白秋 作曲:山田耕作)」

「鉦をおさめて(作詞:時雨音羽 作曲:中山晋平)」ほか

出演:青島広志(お話、ピアノ)
小野勉(テノール)

1955年東京生まれ。東京芸術大学および大学院修士課程を首席で修了。作曲家としては「火の鳥」(原作:手塚治虫)、「黒蜥蜴」(原作:三島由紀夫)等、その作品は200曲に及び、ピアニスト・指揮者としての活動も35年を超えた。現在、NHKラジオ「みんなのコーラス」「高校音楽講座」レギュラー出演他、日本テレビ「世界一受けたい授業」を始めとしたテレビでも活躍、テレビ朝日「題名のない音楽会」ではアドバイザーを務め、広くその多才を発揮している。著書に「モーツァルトに会いたくて」「青島広志でございます!」(学習研究社)等、多数ある。東京芸術大学、都留文科大学講師。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。

文楽への誘い



2011年

7月16日(土)

午後2時開演

人形浄瑠璃文楽座・太夫

とよたけさきほだゆう

豊竹咲甫 大夫

◇お話「情が紡ぐ文楽の魅力」

※文楽の魅力を実演を交えてお話しします。

出演:豊竹咲甫大夫(お話、太夫)
鶴澤寛太郎(三味線)

1975年大阪市生まれ。祖父は文楽三味線の二世鶴澤道八、伯父は人間国宝・鶴澤清治、弟は三味線の鶴澤清道。祖父の三味線で語っていた太夫に憧れ浄瑠璃を志す。8歳で豊竹咲甫大夫入門、豊竹咲甫大夫を名乗る。1986年、国立文楽劇場での素浄瑠璃の会、「傾城阿波の鳴門・巡礼歌の段」のおついで初舞台を踏む。文楽の舞台の他、NHK教育テレビ「ほんごであそび」レギュラー出演や講演、小学校での指導など、太夫・三味線・人形が一体となった、大阪で生まれたユネスコ世界無形遺産・文楽の素晴らしさを広めるべく、多方面で活動している文楽界のプリンスである。2010年の「第28回咲くやこの花賞」を始め、受賞歴多数。

正倉院の響き



2011年

8月7日(日)

午後2時開演

◇お話「プレ雅楽の音楽ロマン」

◆演奏

「天平琵琶譜:正倉院に残された世界最古の琵琶譜」
「箏篋(くご)曲:時の佇まい」

「正倉院の響き」

現在より、はるかに音楽情報過多社会だった平城京。国宝・宇治平等院/雲中供養菩薩が持つ25種類にもおよぶ楽器たちは、正倉院に眠る宝物の古代楽器たちである。国際都市「平城京」におけるシルクロード音楽文化の賑やかさ、約200年をかけて確立した日本雅楽までの成り立ちを、古代ハープ復元並(くご)・正倉院復元四絃琵琶の演奏を交えて紹介する。

出演:音楽プロデューサー ^{のぼろこじ}野原耕二(お話)
行政文化イベントの基本構想を企画制作するなど、音楽・文化プロデューサーとして活動中、毎年、日本古典芸術から現代音楽・舞台芸術を制作し、海外公演も開催している。また、IT改革における文化「デジタルカルチャー日本」の講演及び企画も実施している。

女優・音楽家 ^{みさきしんご}三咲順子(演奏)
サクソスをクレイジーキャッツの安田伸に師事。在学中より「リア王」等の舞台や、「壬生義士伝」等のテレビで女優として活動。「美しいキモノ」のモデルや小椋佳コンサートにも出演。2003年より、ピアノを弾き、演じる。独自のスタイル「一人語り」を各地で上演中。

俳句のたしなみ



2011年

9月11日(日)

午後2時開演

俳人

まゆずみ

黛 まどか

◇お話

「俳句を通して見る

日本人の美意識」

神奈川県生まれ。1994年、「B面の夏」50句で第40回角川俳句賞奨励賞を受賞。同年、俳句サークル「東京ハッピーバーン」を発足。1996年、俳句誌「月刊ハッピーバーン」創刊・主宰(通巻100号を機に終刊)。また、北スベイン・サンチャゴ巡礼道約800km、釜山からソウルまでの道のり約500kmを、徒歩で踏破もしている。2002年、「京都の恋」で第2回山本健吉文学賞を受賞。現在、「日本再発見塾」呼びかけ人代表、「NPO法人日本カミーン・デ・サンティアゴ友の会」理事、「社団法人日本ユネスコ協会連盟」未来遺産委員などを務める。2010年4月~2011年3月、文化庁「海外派遣型文化交流使」として渡仏。著書に、エッセイ「あなたへの一句」(バジリコ)、「その瞬間-創作の現場 ひらめきの時」(角川学芸出版)等多数ある。http://madoka575.co.jp

◆開演: いずれも午後2時00分(午後1時30分開場)

◆入場料: 5,000円(全自由席) ※全4公演がご覧いただけます。

◆会場: 扶桑文化会館

◆主催: 扶桑町・扶桑町教育委員会

●チケット取扱開始: 《扶桑文化会館友の会会員》4月2日(土)・《一般》4月9日(土)

いずれも午前9時00分より

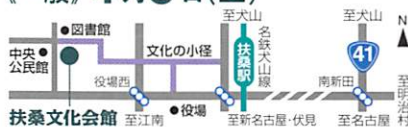
※電話受付も承ります。但し、取扱枚数に制限があります。

◎チケットのお求め・お問い合わせは

扶桑文化会館 TEL.0587-93-9000 (月・火曜日休館)

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字福塚200 http://www.town.fuso.aichi.jp/

平成23年度「扶桑文化会館 友の会」会員を募集中です!! ☆チケットの先行発売等、様々な特典がございます。



FUSO THEATER
扶桑文化会館

〈交通〉名鉄大山線「扶桑駅」下車西へ徒歩約10分
●公共交通機関のご利用に、ご協力をお願いします。